

イスラエルとパレスチナ武装勢力との大規模戦闘の
人道的休戦と平和の回復、及び、ロシアのウクライナ
への軍事侵攻からの撤退と平和の回復を求める声明

本年10月7日から始まったイスラエルとハマスなどイスラム武装勢力との大規模戦闘により、双方とも民間人を含む極めて多数の犠牲者が出ており、人道的にも言葉の限りを尽くして憂慮に堪えません。

先般、国連総会において人道的休戦を求める決議が採択されました。決議に込められた双方のこれ以上の犠牲をくい止める真摯な人道的な思い、願いに沿って、決議の早急、完全な履行、休戦、そして一刻も早い平和的解決と平和の回復が図られますこと、深い祈念と共に心から強く要請をいたします。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も、その勃発から2年近く経過した今もなお、終息に至らず、国連の先般11月の発表によれば、子どもたち、民間人をはじめ市民の犠牲が更に拡大して1万人以上にも及び、人権、人道が踏みにじられ、最も厳しい言葉で断じて看過ができません。

直ちに、軍事侵攻を撤退し、一刻も早い平和的解決と平和の回復を深い祈念と共に心から強く要請をいたします。

令和5年12月25日

京丹後市長 中山 泰